



NTT都市開発

2013年9月24日

NTT都市開発株式会社

EMS（エネルギーマネジメントサービス）で、特許取得

このたび、NTT都市開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：牧 貞夫）の100%出資会社であるNTT都市開発ビルサービス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長谷川 和弘）がEMS（エネルギーマネジメントサービス）（注1）において、日比谷総合設備株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：野村春紀）と共同で消費エネルギー削減診断手法に係る以下の3件の特許を取得しましたので、お知らせいたします。

1. 「空調立上時刻診断手法」

（特許認証 2013年7月26日 特許第5325961号）

春秋の中間期における空調の立上時刻について、始業1時間前の室温データに基づいて居室の空調立上時刻の遅延を判断することができ、空調時間の短縮により消費エネルギーの削減を図る診断手法として確立

2. 「建物の消費エネルギー削減のための外気冷房診断手法」

（特許認証 2013年7月26日 特許第5325918号）

一定以下の外気温度となる季節において、始業時間前の外気温度と室内温度の差に基づいて外気冷房が可能な系統を抽出することができ、外気冷房により消費エネルギーの削減を図る診断手法として確立

3. 「建物の消費エネルギー削減のためのナイトパージ（注2）診断手法」

（特許認証 2013年7月26日 特許第5325948号）

夜間の外気温度と室内温度の差に基づいて外気導入による冷房負荷低減の可否を判断することができ、夜間外気の導入により空調立上時の冷房負荷を低減し、消費エネルギーを削減する診断手法として確立

NTT都市開発グループではビルエネルギーマネジメントの一環として、BEMS（注3）データを活用したエネルギー消費の最適化を目的に2007年度よりBEMS導入ビルの消費エネルギーに関するデータの分析・解析を行ってきたところであり、これらの分析結果に基づいて開発した診断手法について、今般、特許が認証されたものです。BEMSデ

ータを活用した設備機器の最適制御により消費エネルギーを削減してコストミニマムを目指すとともに、地球環境保護の面でもCO₂排出削減に有効な診断手法です。

これらの診断手法のほか、「電力・冷水などの契約値最適化診断手法」、「クールビズ・ウォームビズ診断手法」、「冬期冷房設定温度の最適化診断手法」なども開発しており、現在、特許出願中です。

なお、消費エネルギー分析における評価支援及びBEMSデータの収集・抽出においては、NTTグループにあって建築・電力分野を主な事業領域とする、株式会社NTTファシリティーズの協力を得ております。

当社グループはNTTグループ各社とも連携し、今後も自社グループビルにおける消費エネルギーの削減に努めるとともに、お客様の消費エネルギー最適化をサポートさせていただくことにより、地球環境保護に貢献してまいります。

(注1) Energy Management Service : ビルの消費エネルギーの最適管理を行うサービス

(注2) ナイトページ : 夏場などの冷房時期に、昼間の建物内部に蓄積された熱を、夜間の温度が低い外気を取り入れることにより翌日の冷房負荷を軽減する方法

(注3) Building and Energy Management System : ビルエネルギー管理システム

(参考)

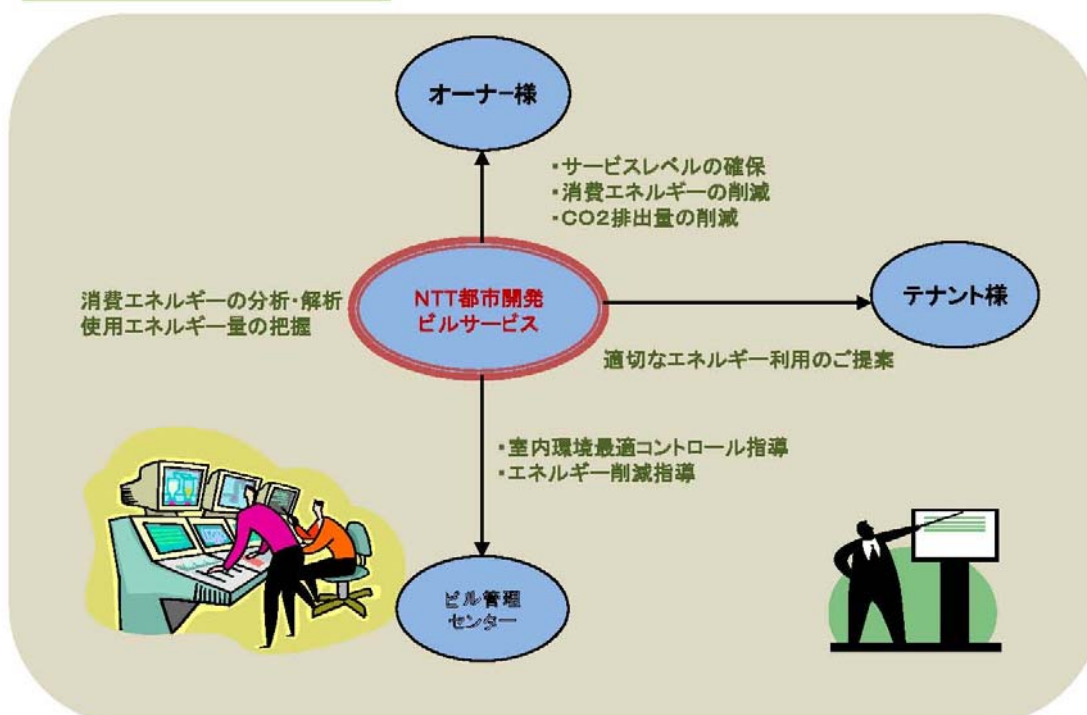
NTT都市開発ビルサービス株式会社 公式サイト：<http://www.nttud-bs.co.jp/>

EMS（エネルギーマネジメントサービス）

ご提供するサービス

- BEMSデータの有効活用による一元的エネルギー管理
- エネルギー分析・解析に基づく施策提案
 - ・ 施策実施による消費エネルギー削減と維持管理費の削減
 - ・ ビル管理センターへの適切なオペレーションの指導
- テナント様への適切なエネルギー利用のご提案

サービスのイメージ



NTT都市開発ビルサービス

PMサービス事業部 BM部門

東京都千代田区岩本町3-2-4 岩本町ビル 〒101-0032

連絡先 03-6384-0610

E-mail: udbs-emc@nttud.co.jp